

東南村山から際立つ美味しさを！ おいしい米づくり情報

第4号 田植え編

発行：令和3年5月11日
山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL:023-621-8295)

田植え日和を選んで移植！

移植後は、きめ細かな水管理で分けつ促進！

～移植時のポイント～

- 移植日：田植え日和、遅くとも5/25まで
- 植付け深度：3cm程度
- 栽植密度：70株/坪(100本/m²)程度
- 掻取本数：5本

- ・活着には苗の貯蔵(残存)養分が必要です。

老化苗では活着が進みません！

田植え日和(風が弱い温暖な日)に、
充実した苗を移植しましょう。

65株/坪植えの場合、掻取本数は5本
60株/坪植えの場合、掻取本数は6本
植込本数が少ないと、初期茎数が
取れないので、疎植厳禁！

- ・箱施用剤と除草剤(1キロ剤)の取違いに注意

して下さい。

- ・取置苗は葉いもちの伝染源！補植は移植日に行い、取置苗はすぐに処分！

補植をする場合は、除草剤の散布前に行いましょう。

～移植後の水管理～

- ・移植後は、活着するまで水深4～5cm程度に湛水し、稲体を低温から守り活着を促進させましょう。
- ・活着(新根発生)後は、水深2～3cmの止水管理と夜間入水で水温にメリハリをつけて、分けつを促しましょう。
- ・強風や低温が続く場合は、やや深めの水深(4～5cm程度)にしましょう。

表. 6月10日頃の品種毎の目標茎数の目安

	茎数 (本/m ²)	株当たり の本数	70株/坪植 (本/株)	60株/坪植 (本/株)
はえぬき	260	⇒	12～13	14～15
つや姫	220		10～11	12～13
雪若丸	240		11～12	13～14

「雪若丸」は
初期茎数の確保
が重要!

～除草剤は散布時期を見逃さない！～

雑草の生育は代かき直後から始まります。

雑草の葉齢が進むと除草剤が効きにくくなるため、
使用時期の範囲内でも“早め”の散布を意識しましょう。

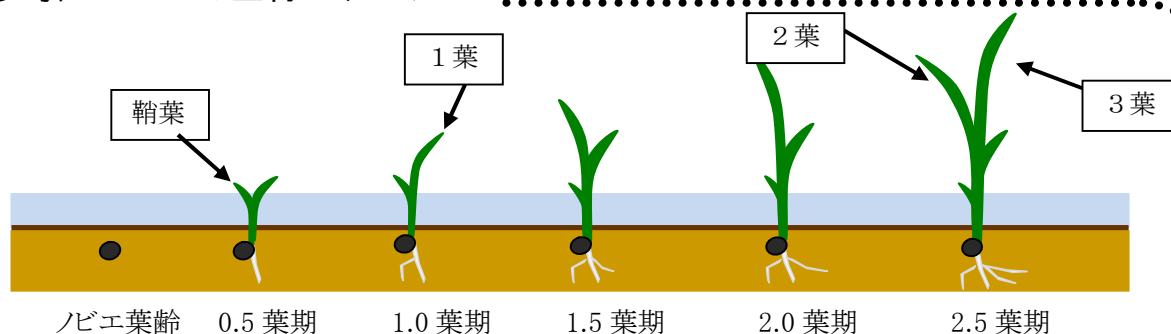
要注意！

近年、代かき後の気温が高温で経過し、雑草の葉齢展開が早いです。

効果を高める水管理

- ・ 除草剤散布では、水深3～5cm(ジャンボ剤、豆つぶ剤5～6cm)を確保します。
- ・ 散布後は7日間止水にしましょう。安定した除草効果を発揮するため、少なくとも散布後3～4日間は湛水状態を保ち、田面が露出した場合は“ゆっくり”足し水をして下さい。

(参考) ノビエの生育ステージ



多くの初中期一発剤はノビエ 2.5～3 葉期が処理晩限！
除草剤の使用時期をよく確認し、遅れないように散布！

暑い日が続くと水の“減り”も早いので、田面が露出しないように水深を管理しましょう

～田ワキ(ガスの発生)が起きたら～

- ・ 高温が続くと土壌が還元して根の生育を妨げるガスが発生します(田ワキ)
- ・ **ワキは代かき直後から進行**するので、代かき後はスムーズに移植を行い、活着不良を避けましょう。
- ・ ワキの兆候がみられたら、**温かい日の夜間に落水**や**水交換**をしましょう。

「ワキ」の程度	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	中：根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡を生じ、においを感じる	大：根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡を生じ、においを強く感じる	特大：根の伸長阻害 地上部黄化	夜間落水、 田干し(曇天日2～3日)

春季農作業事故防止啓発運動 展開中 4月10日～6月10日
家族や仲間で声を掛け合って、農作業事故をなくしましょう